

犯罪にかかわる知的障がい者の地域における 福祉的支援の構築に関する研究

生活福祉文化学部 生活福祉文化学科

准教授 酒井 久美子

研究種目： 基盤研究(C)

研究期間： 2015年度～2017年度

研究分野： 社会福祉学



近年、知的障がいのある人の地域生活移行が進んできている。しかし、知的障がいのある人が地域で安心・安全に暮らしていくためには、さまざまな課題がある。そこで、本研究では、知的障がいのある人が地域で安心して暮らすために、地域における福祉的な支援のあり方について検討することを目的とする。特に本研究では、知的障がいのある人が逮捕(誤認逮捕を含む)や犯罪に巻き込まれるなどの事例を未然に防ぎ、またその後の支援についてもその可能性を探り、地域における支援体制を構築することを目的とする。

さらに、知的障がいのある人の現状や課題、それを取り巻く環境や地域住民の意識等についても把握する。それらを基にして、権利擁護ハンドブックを作成し、知的障がいのある人およびその家族、地域住民や地域の関係機関、司法関係者等への啓発・研修の機会となるよう、取り組みを進めていく。

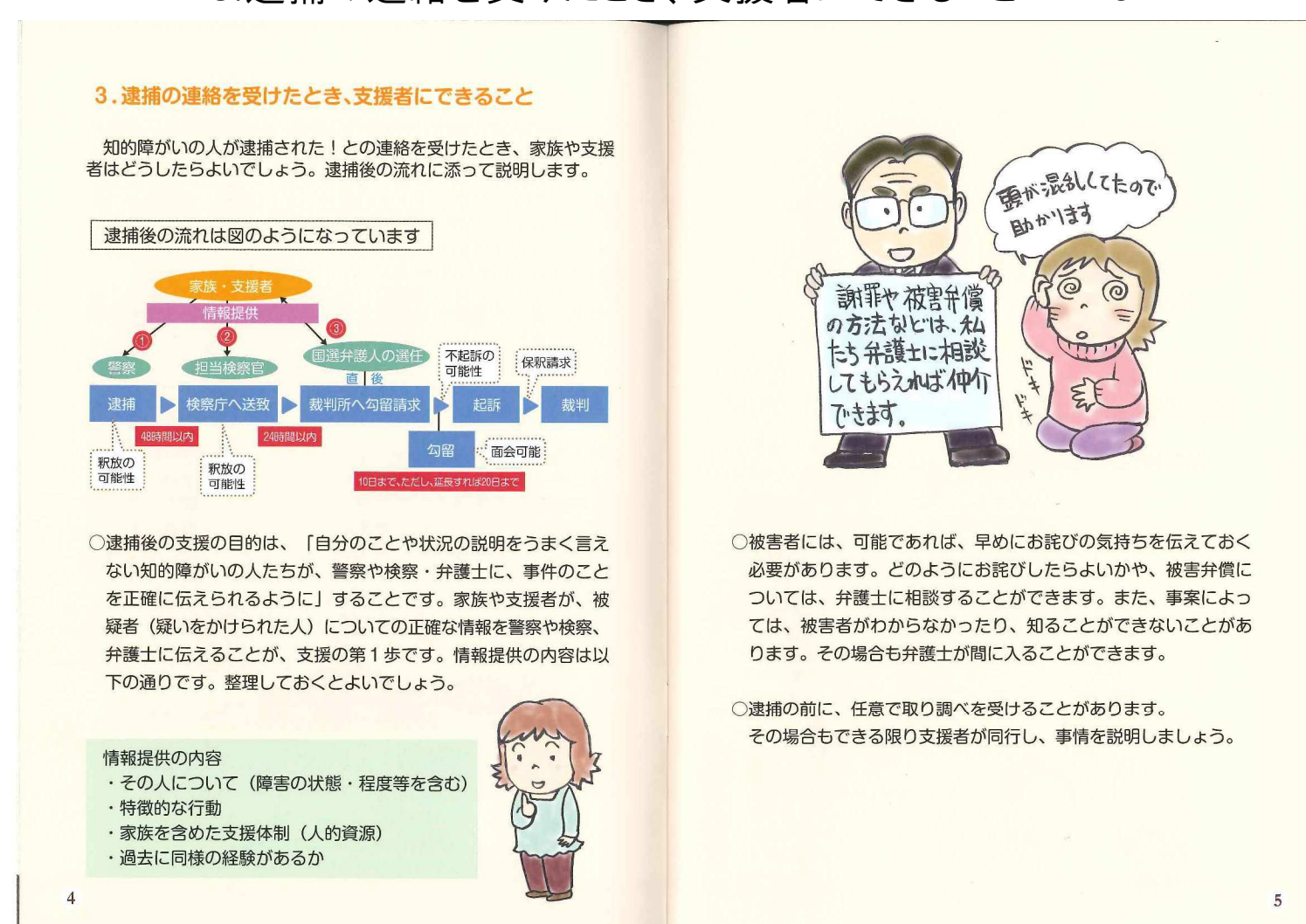
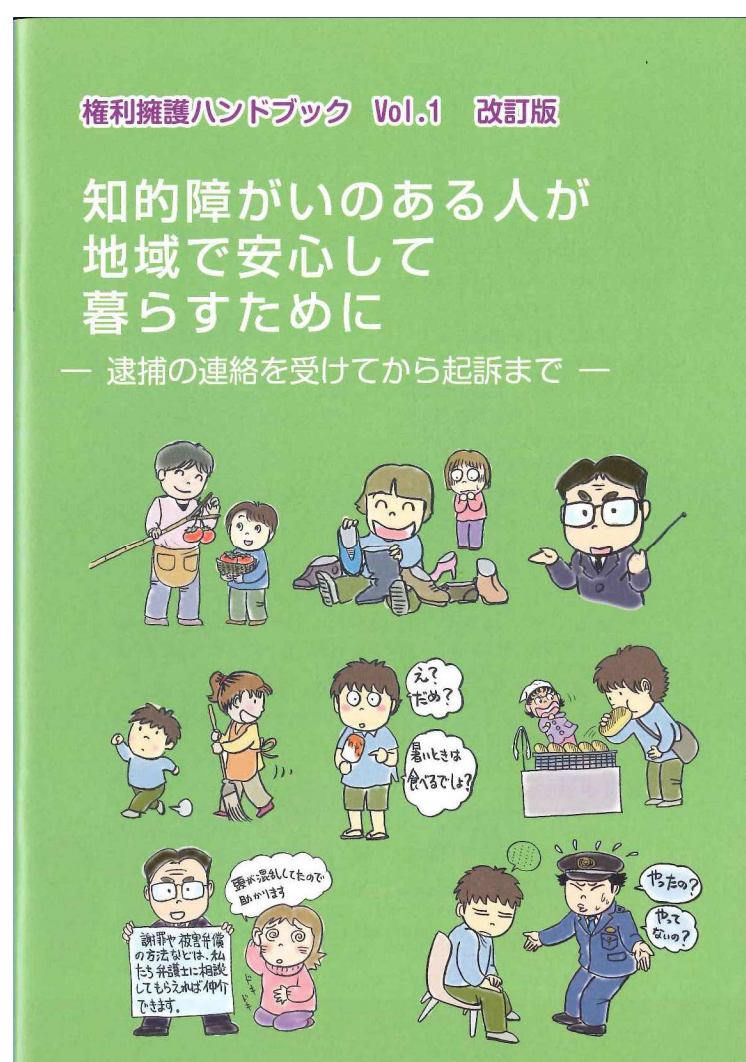
主な著書

学会奨励賞レポート「犯罪にかかわる知的障がい者への地域支援について～大津版ハンドブック作成とその後の取り組み～」『滋賀社会福祉研究第14号』pp.22-27、2012年2月、社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会

実践報告「犯罪にかかわる知的障がい者への地域支援について～大津高齢者・障がい者の権利擁護研究会の取り組みから～」『地域福祉実践研究第3号』pp.47-55、2012年5月、日本地域福祉学会

「第11章地域福祉と福祉教育」成清美治・川島典子編著 インタラクティブシリーズ10『地域福祉の理論と方法』pp.161-175、2013年4月、学文社

3.逮捕の連絡を受けたとき、支援者にできること P4-5



京都ノートルダム女子大学
研究・情報推進課

電話：075(706)3789
FAX：075(706)3793

電子メール：kenkyu@notredame.ac.jp